

日本文化財保存修復国際センター構想の 実現について

【担当省庁】文部科学省、文化庁

京都府では、今まで多くの文化財を保存継承してきた独自のノウハウを活かした文化財修復の国際的な拠点的形成するため、「日本文化財保存修復国際センター構想」を策定し、実現に向けた施策に取り組んでおり、国において、以下の措置を講じていただきたい。

文化財保存修復のための活動拠点整備事業の創設

文化財の保存・修復のための人材育成・技術継承を行う拠点については、国も地方公共団体も擁していないが、京都には、京都国立博物館のほか、文化財修復専門団体、伝統工芸の産地組合、大学等教育機関、文化財所有者団体などが集積しており、世界中から文化財保存・修復の依頼がある。

国内外の多様な文化財保存・修復にあたっては、高度で繊細な技術と文化財に対する知識等が必要であることから、貴重な財産である文化財を後世に保存・継承していくためには、これらの団体が協働・連携して保存・修復の技術等を継承する人材育成や団体間の交流による技術等の向上に取り組むことが重要である。ついては、協働・連携の活動拠点となる文化財保存修復センターの整備事業を創設していただきたい。

(一財) デジタル文化財創出機構から国に対して設立が要望されている「国立デジタル文化資産振興センター(仮称)」の西日本の拠点としてアーカイブ機能を京都に設置いただき、「けいはんなオープンイノベーション拠点(仮称)」との連携を図っていただきたい。

文化財修復を促進する「文化財修復基金(仮称)」の創設

文化財の保存修復には、細かな工程のもと、高度な技術と慎重な作業が必要であり、長い年月と多額の費用を必要とすることから、国内外に数多く存在している貴重な文化財が修復されことなく放置されている。

ついては、これら文化財を未来へ守り伝えるため、修復を促進する「文化財修復基金(仮称)」を創設していただきたい。

文化財修復に関する認定資格制度の創設

国や都道府県の指定を受けていない文化財であっても、歴史的、学術的に価値の高い文化財は国内外に多く存在しており、適切な修復が行われていないケースもある。

については、専門的な知識を有し、文化財の価値レベルに応じた適切な修復に係る設計、施工監理等のマネジメントを行う人材を認定する公的な資格制度を創設していただきたい。

災害時の文化財保護計画の策定及び保護活動を推進する制度の創設

被災した文化財を保護し、後世に伝えていくことは、地域のアイデンティティを失わないためにも重要であることから、災害時における文化財保護の計画を策定するとともに、保護活動に対応可能な人員の確保や基金の設置など、保護活動を円滑に推進する制度を創設していただきたい。

< 現状・課題等 >

日本文化財保存修復国際センター構想

文化財修復の人材育成づくりや職人工房等の集積、文化財の保存や技術開発、適切な文化財修復を推進するためのワンストップ総合窓口とこれらを支える基盤づくりなどを官民一体のネットワークを構築しながら整備し、京都府全体で一大拠点を形成し、未指定も含めた文化財全体の修復の仕組みづくりを構築する。

内 容

文化財修復関係機関のネットワーク構築
ワンストップ総合相談窓口の設置
文化財修復アドバイザー（仮称）や修復技術者の育成
職人工房の集積、道具・原材料等供給体制の確立
文化財修復・人材育成拠点の整備
海外との交流
デジタルアーカイブ技術等、最新科学技術の活用による文化財の復元等
文化財修復ファンド（仮称）の創設

京都府内における文化財修復の教育機関

京都美術工芸大学工芸学部文化財修理コース（南丹市）

京都橘大学文学部歴史遺産学科（京都市）

京都造形芸術大学歴史遺産学科文化財保存修復・歴史文化コース（京都市）

「国立デジタル文化資産振興センター（仮称）」

デジタル文化情報の安定的・恒久的な保管運用のための環境整備による文化資源の後世への継承や、「デジタル」による新たな価値創出への活用に向けた取組推進のため国において設置が検討されているもの

<機能(案)>

全国に存在する文化財及び各種資料などの「文化遺産」のデータを収集・保管
文化財情報の恒久保存のための独自技術の開発
文化情報ポータル等の設置、活用促進による普及啓蒙・国際発信
東京のほか、関西(京都)及び関東(仙台)等にサテライトを設置し、デジタル加工や所在調査・収集を行うアーカイブ拠点として相互に連携

(一財)デジタル文化財創出機構

文化財とその関連情報の集積の場である『ミュージアム』に新しい価値と機能を付加するため、文化財研究者、IT開発者、コンテンツ制作者などの専門家を情報とともに結集し、後世に継承すべき新しい形の文化資産『デジタル文化財』の創出支援と普及を目指すことを目的とし、平成 22 年 11 月に設立

海外主要美術館・博物館の日本コレクション収蔵状況

名 称	点 数	主な収蔵品
大英博物館（イギリス）	約 30,000	仏像、版画、日本刀等
ヴィクトリア&アルバート美術館(イギリス)	約 25,000	浮世絵、漆器、甲冑等
ギメ東洋美術館（フランス）	約 11,000	浮世絵、巻物、漆器等
エルミタージュ美術館（ロシア）	約 8,000	浮世絵、根付、漆器等
スティバルト博物館（イタリア）	約 2,000	武具、版画、漆器等
メトロポリタン美術館(アメリカ)	約 16,000	版画、織物、陶磁器等
ボストン美術館（アメリカ）	100,000点以上	浮世絵、仏画、仏像等
フリーア博物館（アメリカ）	約 10,000	仏像、陶磁器、書道等

【京都府の担当部局】

商工労働観光部	産業労働総務課	075-414-4819
	染織・工芸課	075-414-4858
	産業立地課	075-414-4848
政策企画部	新技術拠点整備	075-414-4372